

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2011-09-15

APM news 043

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

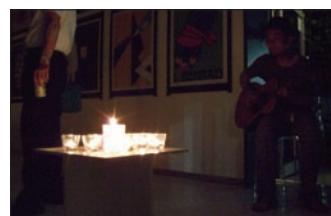
高田建築事務所主催 6月22日(水) pm 6:00~10:00/参加者:55名

1,000,000人のキャンドルナイト in APM



何年か前からこの時期になると、全国各地に散らばるある特定の人々を賑わす運動がある。エコという言葉がもてはやされ始めた頃から開催されているアートイベントの一つで“1,000,000人のキャンドルナイト”と呼ばれており、日本中の各地に散らばっている優しさや思いやりをキャンドルの灯りに変え、普段点けている照明を消すことで、限りある電気エネルギーの消費を少しでも抑えようといった内容の運動である(※解釈が多様化しているので誤りがあった場合はご容赦願います)。この3ヶ月間、常に宮内地区が行うべき“まちおこし”について考えてきた。知り合いを通じてこのイベントの情報を聞き入れたのが開催の6日前。キャンドルの灯りを想像するのは難しく、この場所で淡く放つ灯りが持つ神秘性を、ほぼ直感的に信じてみたくなった。

今回のイベントは時間も限られている中、様々な方の絶大なご協力により、50人を超える来場者があり大盛況の後に終了することができた。上組小学校への告知による子供達や先生方の来場。軽飲食の提供により、来場者の会話が花が咲いた。地域の方々とのコミュニケーションの場としての可能性の拡大。友人の楽曲提供は、建築の空間体験に加え、新たに“音”という要素を加え空間と調和した。今回のイベントは、秋山孝先生始め、本当に地域の方々や会社の皆様、友人知人といった、家族のような繋がりがあって初めて開催に至ることができたと改めて感じている。この文章をかりて改めて、皆様に深く感謝申し上げます。人と人との関わり合いから、決して逸脱する事が出来ない社会の中で、キャンドルと町の美術館の神秘的な空間によって、人々の内に秘めた優しさや気持ちが表に引き出され、新たなコミュニケーション方法の一つとしての可能性が垣間みられたのではないかと思います。地域づくりやまちおこしといった言葉も多くでてきているが、継続していく事で活気ある町となっていけばと考えている。(平澤健至・高田建築事務所社員) APM公式ホームページより抜粋



キャンドルナイト風景